

令和八年度採用

山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・国語 問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 一 この問題は三問、五ページで、時間は六十分です。
- 二 解答用紙は、別紙で配付します。「始め」の合図で始めてください。
- 三 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 四 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 五 解答用紙を持ち出してはいけません。

高等学校 国語

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作者の権利保護のため
掲載を省略

著作者の権利保護のため
掲載を省略

出典は、松村圭一郎「資本主義で『自治』は可能か？―店がともに生きる拠点になる」
（『コモンの「自治」論』二〇一三年・集英社）。なお、一部省略した箇所がある。

語注

※1 マルクス……カール・マルクス。ドイツ出身の哲学者。

※2 ジンメル……ゲオルク・ジンメル。ドイツ出身の哲学者。

※3 イゴール・コピトフ……中国出身の人類学者。

問一 傍線部②「ケイフ」、④「シュツジ」のカタカナを漢字に直せ。

問二 傍線部①「新自由主義的なマーケット依存社会」とあるが、筆者はこのような社会のどのような点を問題視しているか。「点」に続くように、本文中から四十五字以上、五十字以内で抜き出し、初めと終わりの五字を答えよ。ただし、句読点や記号は字数として数えることとする。

問三 傍線部③「やや違う見方」とあるが、どのような見方か。四十字以上、五十字以内で説明せよ。

問四 空欄 A、B に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア	A 短期的	B 長期的	イ	A 刹那的	B 個人的	ウ	A 恣意的	B 対照的
エ	A 即時的	B 匿名的	オ	A 短絡的	B 経済的			

問五 傍線部⑤「贈与は長期的で人格にもとづいた人間関係を構築する」とあるが、それはなぜか。三十五字以上、四十字以内で説明せよ。

問六 傍線部⑥「境界は固定してない」とあるが、同じ意味で用いられている言葉を、本文中より二か所、いずれも五字以上、十字以内で抜き出して答えよ。

問七 傍線部⑦「均質的で固定した不可逆のものではない」とはどういうことか。四十字以上、五十字以内で説明せよ。

1. 単元名 [①]

2. 単元の目標

(1) 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。〔知識及び技能〕

(2) 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

3. 本単元における言語活動

論理的な文章を読み、主張と論拠との関係に着目して要約する。

知識・技能
主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。
思考・判断・表現
「[②]」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。
主体的に学習に取り組む態度
論理的な文章の要約を通して、主張と論拠との関係について理解し、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握することに向けて粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとしている。

- (1) あなたならどのような単元を設定するか。①に入る単元名を答えよ。
- (2) ②に入る領域名を答えよ。
- (3) 「主体的に学習に取り組む態度」について、単元の評価規準に照らし、「おおむね満足できる」状況(B)と判断できる生徒の姿をどのように想定するか答えよ。

次の文章は、平安時代の歌人である源経信が、子である俊頼達と共に、西山の花見に行つた場面である。これを読んで後の問いに答えよ。

著作者の権利保護のため
掲載を省略

出典は「撰集抄全注釈 下巻」（笠間書院）。ただし、表記を改めた箇所がある。

語注

- ※1 経信……源経信。平安後期の公卿・歌人。本文中に登場する俊頼（歌人）の父。
 ※2 西山……平安京の西方に連なる山。本話では、大井川の流れるあたりをいつている。
 ※3 禅定……座禅。
 ※4 煩惱即菩提。生死即涅槃……迷いも悟りも本来同じものであり、生と死も別ものではない。
 ※5 本取……髪を頭の上に集めて束ねた所。
 ※6 自利利他心平等……自らは悟りを求め、人に対しては救済し利益を与えること。

問一 波線部 A～C の敬語について、それぞれの敬意の対象はだれか。次の A～E の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

A 経信 イ 人々 ウ 僧 エ 俊頼

問二 傍線部④「に」、⑤「られ」の助動詞の文法的意味を、それぞれ漢字で答えよ。

問三 傍線部①「すき人」、③「日ぐらし」、⑦「さればこそとよ」の本文中での意味を答えよ。

問四 傍線部②「おぼれ」、⑧「いひ」、⑪「かたしき」の主語を、それぞれ本文中から抜き出して答えよ。

問五 傍線部⑥「法文の、心のはるけぬべき、の給はせよ」とあるが、この発言にはどのような意図があるか。二十五字以上、三十字以内で答えよ。

問六 傍線部⑨「やがて本取おろして、同行とやならましと覚る程にぞ侍ける」、を現代語訳せよ。

問七 傍線部⑩「さりとおぼしたる心」とあるが、どのような心か。三十字以上、四十字以内で答えよ。

問八 傍線部⑫「弥おもひ増て」とあるが、人々は僧のどのような点に感服したか。五十五字以上、六十字以内で答えよ。

三

次の文章は「世説新語」の一節であり、東晋時代の役人である褚公（褚季野）が、旅中の銭塘県で経験した出来事を描いている。これを読んで、後の問いに答えよ。なお、設問の都合上、訓点を省略した箇所がある。

著作者の権利保護のため
掲載を省略

出典は「新釈漢文大系 世説新語」（明治書院）。ただし、表記と訓点を改めた箇所がある。

語注

- ※1 章安令……章安県の長官。 ※2 記室参軍……文書記録をつかさどる幕僚。 ※3 估客……商人。
※4 送故吏……見送りの役人。 ※5 亭……宿場。 ※6 吳興沈……吳興郡の沈氏。
※7 浙江……钱塘江。浙江省を流れる川。 ※8 僮父……田舎者。 ※9 河南……河南郡。
※10 刺……名刺。 ※11 宰殺……牛や羊を殺すこと。

- 問一 傍線部①「已」、②「未多識」、⑤「於是」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。ただし、現代仮名遣いとする。
問二 傍線部⑦「便」の本文中での意味を簡潔に答えよ。
問三 傍線部③「銭塘」について、次の各問いに答えよ。

(1) 次の は、本文に付された注記の一部である。銭塘という地名の由来を、三十字以内で答えよ。

著者の権利
保護のため
掲載を省略

- 語注
※1 輦……車に乗せて引いて運ぶ。 ※2 塘……堤。

- (2) 地名の由来と関わりの深い自然界の現象を述べている箇所を、本文中から五字以内で抜き出して答えよ。
問四 傍線部④「欲食餅不」を現代語訳せよ。
問五 傍線部⑥「不敢移公」について、「楮公を移動させることもせず」という意味になるように返り点を施せ(送り仮名は不要)。
問六 傍線部⑧「鞭撻亭吏、欲以謝慙」とあるが、亭吏のどのような行為を謝罪しようとしたのか、説明せよ。
問七 傍線部⑨「言色無異、状如不覺」について、次の各問いに答えよ。

- (1) 現代語訳せよ。
(2) このことから、楮公はどのような人物であつたと考えられるか、答えよ。

受検番号

氏名

※印のところは記入しない

高・国語 1

令和八年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

切り取らないこと

高等学校 国語 解答用紙

※

二

問八			問七			問六		問五		問四	問三			問二	問一
3	2	1	み	や	人	グ	連	こ	親	エ	し	人	商	売	②
論理的な文章について、その内容や構成、論理の展開などより良い要約になるように工夫して取り組んでいる。			出	人	格	ラ	続	と	し		う	間	品	り	系譜
			せ	格	性	デ	線	で	い		る	関	に	手	
			る	に	を	ー	上	、	間		と	係	よ	も	
			と	も	帯	シ	に	次	柄		い	は	っ	買	④
			い	と	び	ヨ	あ	の	で		う	断	て	ゝ	
			う	づ	た	ン	る	交	金		見	絶	結	た	出自
			こ	い	唯	的		換	額		方	し	ば	な	
			と	た	一			へ	が		。	て	れ	く	
			。	人	無	等		の	不			い	る	な	
			50	と	二				期	明	50	る	人	る	点
				人	の				待	瞭		わ	間		
				と	価				が	な		け	関		
				の	値				持	も		で	係		
				つ	を				続	の		は	と		
				な	備				す	を		な	共		
				が	え				る	贈		く	同		
				り	た				か	り		、	体		
				を	商				ら	合		並	的		
				生	品				。	う		存	な		

これ以降の解答欄は裏面に続く

二

問八			問七			問六			問五			問四	問三	問二	問一
座	い	経	人	京	すぐに出家して、修行仲間となるのではないかと思われるほどでございました	見	僧	②	①	④	A				
に	理	文	も	の		極	が	花	風流な人	断定	ウ				
応	解	に	教	方		め	深					イ			
じ	に	対	え	に		る	く						イ		
ら	加	す	導	出		意	仏							C	
れ	え	る	こ	て		図	道	ウ							
る	、	人	う	い		。	に		尊敬						
深	和	々	と	き			心			一日中					
い	歌	の	す	、			を				僧（此聖）				
教	に	疑	る	仏			入	人々							
養	つ	問	心	教		30	れ		思った通りだ						
を	い	を	。	の			て								
備	て	晴		真			い								
え	も	ら		理			る								
て	俊	す		に			人								
い	頼	仏		基			か								
る	の	教		づ		ど									
点	歌	へ		い		う									
。	に	の		て		か									
	即	深		人		を									

60

40

三

問一		問二	問三			問四	問五	問六	問七				
①	すでに	⑤	ここにおいて	すぐに	1	2	餅を食いたくないか。	不 二 敢 移 公 一レ	楮公を追いたてて牛小屋のあたりに移動させた行為。	1			
②					いまだおおくはしらず	豪族たち				で	潮		
						が				を	水		
					銭	を	集	め	て	人			
					を	雇	い	、	土	を	運	ん	
					30								